

ドライブレコーダ(DR)とEDR(event data recorder)について

	ドライブレコーダ	EDR
概要	事故や急ブレーキ作動時の車両の状態を映像及び減速度等のデータで記録する装置	衝突事故時の車両の安全装置の作動状況を記録する装置
目的	<ul style="list-style-type: none"> ・運転者の指導 ・事故分析、ヒヤリハット分析 	<ul style="list-style-type: none"> ・エアバッグ等安全装置の作動の有無の確認 ・事故分析
データ記録条件(記録トリガー)	・ある一定の減速度(ブレーキが)作動した場合	・主にエアバッグの作動
システム概要	<ul style="list-style-type: none"> ・前方監視用小型カメラを装着 ・事故及びヒヤリハット前後の映像や車両データを記録 	<ul style="list-style-type: none"> ・エアバッグ等が作動するような事故において事故前後の車両の運動データや運転者の操作等を記録 ・エアバッグに係る電子制御機構の一部
主な記録情報	<ul style="list-style-type: none"> ・車外映像 ・ブレーキ、車速 ・ウinker ・GPSによる位置 	<ul style="list-style-type: none"> ・加速度、ブレーキ、車速、アクセル ・シートベルト着用 ・エアバッグの作動タイミング ・その他
その他	・現在、後付装置として普及が進みつつある	<ul style="list-style-type: none"> ・新車段階での装備が一般的 ・米国では EDR に関する技術基準が策定され、欧州でも検討中

(出典:交通事故のない社会を目指した今後の車両安全対策のあり方について報告書:交通政策審議会陸上交通分科会自動車交通部会(平成18年6月12日))